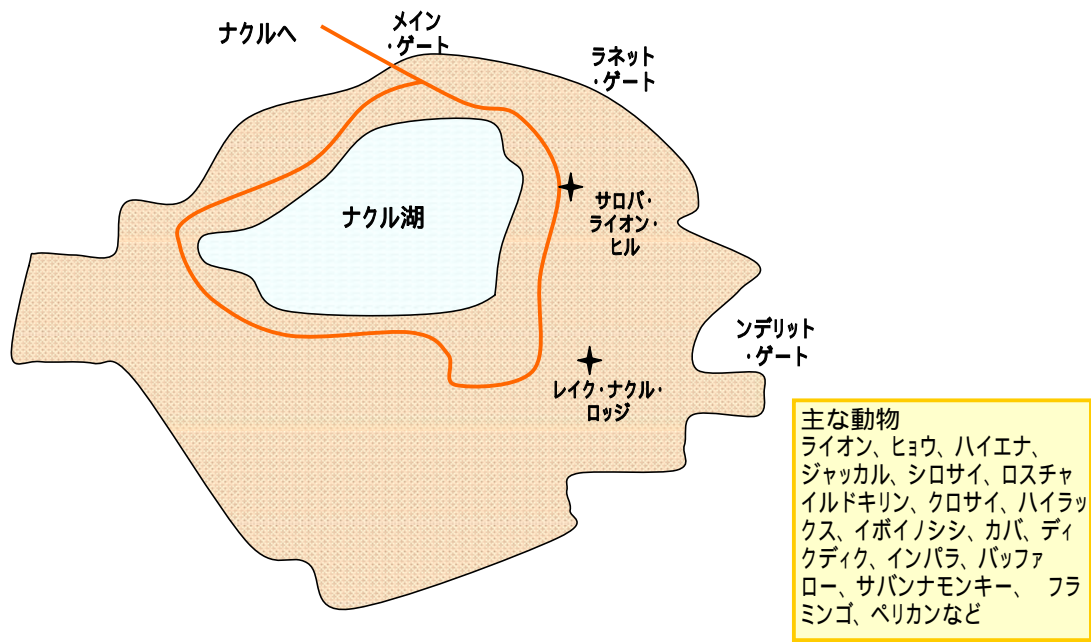


ナクル湖国立公園



ナイロビから北西へ170Km(車で約2.5時間)。大地溝帯の中に位置する美しい湖、ナクル湖のほとりに広がる国立公園。ここはフラミンゴ天国で、かつてはそのフラミンゴの群れで湖面がピンク色に染まったという。また、フラミンゴほど多くないが、ペリカンも棲息しており、時にはその大群が空中乱舞したり編隊を組んで夕日を浴びて飛んで行く光景を見ることが出来る。ケニアの他の国立公園と異なり、動物の保護政策的な事柄が加味されているのが大きな特徴となっており、他の地域では1977年に絶滅したウガンダキリンをはじめ、サイやヒョウが見られる確率の高い国立公園としても有名。ナクル湖と同じくソーダ性の湖であるボゴリア湖、パリンゴ湖、エレメンタイタ湖などへは車で約1時間～1.5時間。これらの湖を、藻のたぐいや小さなプランクトンなどのエサを求めてフラミンゴが渡り歩いているという。



= ロッジ =
レイク・ナクル・ロッジ

ナクル湖を見下ろせる山腹にある。ナクル湖の老舗ロッジ。ダイニングルームからの見晴らしがすばらしく、バー、プールなどもある。2002年に、より広く、ベランダ付きのニュールーム(デラックスルーム)が新設された。



サロバ・ライオン・ヒル

アカシアに囲まれた林間のロッジ。植物、野鳥など豊かな自然が身近。全64室。レストラン、バー、プール、サウナ、キュリオショップなどがある。

